

# UHCナレッジハブの東京での対面研修について

## 開催日、参加者等

【開催日】2026年2月24-28日

【場所】ベルサール芝公園

【参加者】UHCナレッジハブの初年度研修対象国8ヶ国（※）の財務・保健当局の高官、世界銀行、WHO、財務省、厚労省等 合計70名程度（レセプションでは、井上総理補佐官、武見元厚生労働大臣が歓迎の挨拶）

※インドネシア、エジプト、エチオピア、カンボジア、ガーナ、ケニア、ナイジェリア、フィリピン

## 概要

- **研修**：各国の財務・保健当局の参加者が、UHC達成に向けた保健財政政策の立案・実行に必要な実践的能力を強化するため、各国から提示された、国内資金動員、保健システムの効率性向上、公共財政管理、財保連携等の課題について、技術面及びリーダーシップ面から、各国及び国を越えた参加者同士の議論を行い、今後の各国の保健財政強化に係る展望を発表した。
- **財務省訪問**：三反園政務官による歓迎の挨拶のほか、財務省職員より財保連携による社会保障費の適正化、1961年のUHC達成の経緯、UHC達成が経済発展や社会の安定に寄与した経験等を共有し、参加者との意見交換を実施。
- **厚労省訪問**：迫井医務技監、老健局林審議官より、日本の医療保険制度・診療報酬、介護保険制度の成り立ち等について講義、参加者との意見交換を実施。
- **施設訪問**：医療施設、介護施設、港区役所を訪問・見学。



## 今後の方向性

次回UHCハイレベルフォーラムで、UHCの達成に向けた、初年度研修対象国の進捗状況を報告予定。それに向けて各国で関係省庁や関係者と連携し、取組を進めることが期待される。